

Q1 「単位制」って何ですか？

A1

「単位制」とは、卒業に必要な単位数をとれば卒業となる制度です。ただし、本校では、生徒一人一人の力を少しずつ伸ばしていけるよう、学年（単位制の場合は「年次」という）ごとに授業を受ける科目を定め、段階的に学習していけるようにし、普通は3年で卒業するようにしています。

本校の「単位制」の最も特徴的な部分は、70科目以上のさまざまな科目（うち、本校独自の「学校設定科目」が44科目）を用意しているという点と、部分的には年度の途中で半期毎に単位認定して、学習状況や進路意識の高まりに応じた科目選択を柔軟に行えるという点です。一人一人の大学入試対策にあわせた、きめ細かな指導を実現できるシステムです。

Q2 47分授業の特長は何ですか？

A2

これまで本校で行っていた55分授業より1時間当たりの時間数は8分短くなりますが、6校時から7校時に増えますので、一日当たりの学習時間は今までとほぼ同様です。47分授業は、一日7校時で週35時間の授業ができるようになることから、1時間当たりの時間が短くなった分、むしろポイントを押さえたわかりやすく密度の濃い授業を、数多く受けることができ、一時間一時間の内容を確実に身につけながら学習していくことができるという良さがあります。

Q3 7校時になると、部活動や下校時間に影響がでませんか？

A3

授業の終わりは今までとほぼ同様で、部活動に入ることができますから、7校時になっても、下校時間が遅くなるということはありません。単位制にすることで一層の学力向上をめざしながら、同時に文武両道も果たすための工夫された日課です。

Q4 2学期制の特長は何ですか？

A4

前期は4月～9月、後期は10月～3月です。2学期制にすることにより、単位制の特色を生かして、2、3年次に一部の科目で学期毎に単位の取得を認めるしくみがあり、次の目標にあわせた科目を選択し履修できます。それによって進路目標にあわせて計画的に学習して行くことができます。

なお、夏休み等の長期休業や主な学校行事はこれまでと変わりありません。定期考査も、3学期制の場合と同じ回数を実施します。

Q5 大学入試を目指す上で、進学型単位制のシステムはどのように生かすことができますか？

A5

大学入試センター試験や国公立大学の二次試験（個別学力試験）は、大学、学部・学科（専攻）毎に受験科目が様々に設定されます。本校のこれまでのコース制と比較して、本校の進学型単位制には、そうしたバラエティに適應した学習科目の最適化を図る仕組みが一層充実しています。2学期制による半期毎の履修科目の選択や習熟度別授業の充実などがそれです。

生徒一人ひとりがこれまでの学年制のコース制以上に柔軟に各自のキャリア形成状況や進路目標に応じた科目選択ができるようになります。

Q6 単位制になることで、米沢東高から進学しやすい学部や就きやすい職業はありますか。

A6

普通科ですので、特定の資格や職業に直結するものではありません。

ただし、本校では、芸術科目は従来から音楽、美術、書道の3科目から選択でき、いずれも常勤の教員（教諭）が指導しています。単位制への移行に伴い、選択の仕方によって、この芸術3科目をより深く学ぶことができるようになりますし、進学にも有利だと思います。また、「生活総合」や「食文化」などの家庭科の専門科目や「情報研究」、「発展体育」などの専門的に学ぶ科目も設けてありますので、将来に向け、興味・関心のある内容を深く学び、追究していくことができます。このようなことも、本校の進学型単位制の特長の一つです。

Q7 単位制では「クラス」はなくなるのですか？大学のように登校時間が自由だったり、空き時間があったりするのですか？

A7

単位制ですが、生徒一人ひとりの集団性や協同性を育てることを考え、ホームルーム（クラス）をつくり、担任もつきます。また、朝のホームルームでの指導や健康管理、ホームルーム活動、総合的な学習の時間なども基本的にはこれまでのとおりです。「空き時間」は認めず、必ず全員が一日7時間の授業を受けることで学力の向上を目指します。一日の学校生活の流れにおいては、7校時授業になること以外には、「学年制」の時と大きな違いはありませんので、すぐ適応できると思います。

Q8 「キャリア形成単位制」って、何ですか？

A8

本校では、「キャリア形成」という言葉に、将来の社会的な自立（職業的な自立）に向けた「自分づくり」という意味合いを強めて使っています。

大学進学率がますますのびていく今日、これから大学に進学し、より専門的な学問探究をしていこうとする意識や、それを通してどのように社会の一員として役割を果たしていけるのかという認識（大学に進学する上でのキャリア形成）を身につけていく必要性は、大きいはずです。

本校は、普通科進学校における「キャリア教育」を、教育課程においても、実践的に取り組んでいく高等学校であろうとしています。具体的には、生徒一人ひとりが科目を選択する過程や、学んでいる一つ一つの科目の内容をとおし、各自が段階的、主体的に自分の学ぶべき事柄をじっくり考えながら、少しずつ自分の「キャリア」を自分の手で作り上げていくことができるようにと、考えました。そのことから、本校の普通科進学型単位制の特色を言い表す言葉として「キャリア形成単位制」と名付けたものです。